



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 住石ホールディングス株式会社

コード番号 1514 URL <http://www.sumiseki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 長崎 駒樹

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 高木 賀光

TEL 03-5733-9901

四半期報告書提出予定日 平成29年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	8,093	△40.2	95	△58.8	407	△41.1	318	△66.4
28年3月期第3四半期	13,523	△8.0	231	△18.9	690	187.1	949	427.3

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 440百万円 (△52.3%) 28年3月期第3四半期 923百万円 (141.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	5.58	4.83
28年3月期第3四半期	16.32	14.20

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	16,346	10,781	65.6
28年3月期	16,528	10,558	63.6

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 10,729百万円 28年3月期 10,515百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	2.00	2.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	△24.9	180	△36.8	500	△33.7	400	△61.1	6.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 2社 (社名) ダイマテリアル株式会社、除外 1社 (社名)
住石山陽採石株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	58,892,853 株	28年3月期	58,892,853 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期3Q	2,057,806 株	28年3月期	1,057,762 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	57,089,665 株	28年3月期3Q	58,174,071 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

(第二種優先株式)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	3.00	3.00
29年3月期	—	—	—		
29年3月期(予想)				2.00	2.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
4. 補足情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）が判断したものであります。

なお、第1四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）等を適用し、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、設備投資などに一部足踏みがみられるものの、企業収益や雇用情勢に改善傾向が続き、個人消費の持ち直しも含めて緩やかな回復基調が続いています。一方で新興国や資源国経済の減速や、英国のEU離脱・米国のトランプ政権誕生などによる海外経済の先行きは不透明な状態が続いています。

このような事業環境のもと、当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）は、石炭輸入販売取引の競争激化に伴う販売数量の減少等により減収となったことに加えて、豪州の炭鉱会社からの受取配当金及び前連結会計年度に計上した訴訟費用戻入額等が減少したこと等により、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高8,093百万円（前年同期比40.2%減）、経常利益は407百万円（前年同期比41.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は318百万円（前年同期比66.4%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①石炭事業部門

販売数量の減少、配船時期のずれ等により、売上高は7,324百万円（前年同期比42.6%減）、セグメント利益は347百万円（前年同期比23.9%減）となりました。

②新素材事業部門

IoT関連、自動車部材関連の研磨材販売が好調であったため、売上高は266百万円（前年同期比2.4%増）、セグメント利益は63百万円（前年同期比45.1%増）となりました。

③採石事業部門

公共工事の上期ずれ込み分を第3四半期に集中販売できたため、売上高は503百万円（前年同期比0.5%増）、セグメント利益は67百万円（前年同期比4.1%増）となりました。

（注）金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金並びに建設仮勘定等が増加したものの、売掛金、商品及び製品並びに投資有価証券等が減少したことから、前連結会計年度末に比べて181百万円減少して16,346百万円となりました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、未払法人税等並びに繰延税金負債等が増加したものの、短期借入金・社債並びにその他流動負債が減少したことから、前連結会計年度末に比べて404百万円減少して5,565百万円となりました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、自己株式の取得により減少したものの、利益剰余金並びにその他有価証券評価差額金が増加したことから、前連結会計年度末に比べて223百万円増加して10,781百万円となり、自己資本比率は65.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点においては平成28年10月31日公表の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は、平成28年3月14日開催の取締役会において、平成28年4月1日付けで当社グループの組織再編を行うことを決議いたしました。

詳細につきましては、平成28年3月14日公表いたしました「グループの組織再編に関するお知らせ」をご参照ください。

また、第2四半期連結会計期間において、当社連結子会社である住石マテリアルズ株式会社が保有していた泉汽船株式会社の全株式を譲渡した事により、同社を持分法適用の範囲から除外しております。

詳細につきましては、平成28年7月20日公表いたしました「持分法適用関連会社の異動（株式譲渡）に関するお知らせ」をご参照ください。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しています。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,184	3,952
受取手形及び売掛金	1,735	959
商品及び製品	1,608	938
仕掛品	110	103
原材料及び貯蔵品	13	10
前渡金	1	0
繰延税金資産	56	56
その他	200	73
流動資産合計	5,908	6,095
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	516	488
機械装置及び運搬具(純額)	4	13
土地	5,765	5,765
リース資産(純額)	61	71
建設仮勘定	2	187
その他(純額)	9	7
有形固定資産合計	6,359	6,534
無形固定資産		
その他	50	48
無形固定資産合計	50	48
投資その他の資産		
投資有価証券	4,018	3,521
その他	619	577
貸倒引当金	△433	△431
投資その他の資産合計	4,204	3,667
固定資産合計	10,614	10,249
繰延資産		
社債発行費	4	2
繰延資産合計	4	2
資産合計	16,528	16,346

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	516	522
短期借入金	743	450
1年内償還予定の社債	240	240
未払法人税等	13	91
引当金	24	7
その他	336	228
流動負債合計	1,874	1,539
固定負債		
社債	240	120
長期借入金	2,000	2,000
繰延税金負債	301	365
再評価に係る繰延税金負債	288	288
退職給付に係る負債	157	150
長期預り金	76	76
資産除去債務	31	23
訴訟損失引当金	400	400
環境対策引当金	535	523
その他	65	79
固定負債合計	4,095	4,026
負債合計	5,970	5,565
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,501	2,501
資本剰余金	967	967
利益剰余金	6,917	7,099
自己株式	△143	△233
株主資本合計	10,242	10,334
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	567	688
土地再評価差額金	△294	△294
その他の包括利益累計額合計	272	394
新株予約権	42	51
純資産合計	10,558	10,781
負債純資産合計	16,528	16,346

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	13,523	8,093
売上原価	12,184	6,945
売上総利益	1,339	1,148
販売費及び一般管理費	1,107	1,053
営業利益	231	95
営業外収益		
受取利息	9	8
受取配当金	472	422
持分法による投資利益	96	-
固定資産賃貸料	42	39
その他	14	5
営業外収益合計	635	476
営業外費用		
支払利息	47	32
外国源泉税	44	39
持分法による投資損失	-	23
その他	84	68
営業外費用合計	175	164
経常利益	690	407
特別利益		
固定資産売却益	-	10
関係会社株式売却益	-	19
訴訟費用戻入額	258	-
特別利益合計	258	30
特別損失		
固定資産除売却損	5	23
投資有価証券売却損	4	-
環境対策費	-	3
訴訟関連費用	16	-
その他	2	5
特別損失合計	28	32
税金等調整前四半期純利益	920	405
法人税、住民税及び事業税	△28	86
法人税等調整額	△0	△0
法人税等合計	△28	86
四半期純利益	949	318
親会社株主に帰属する四半期純利益	949	318

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	949	318
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25	121
その他の包括利益合計	△25	121
四半期包括利益	923	440
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	923	440
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年5月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この取得や単元未満株式の買取りにより自己株式は、当第3四半期連結累計期間に、89百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において233百万円となりました。

4. 補足情報

当社、当社子会社住石マテリアルズ株式会社（以下「住石マテリアルズ」といいます。）及び同住石貿易株式会社は、じん肺に罹患しているとする患者らから平成26年12月に損害賠償請求訴訟を提起されました。

その後、3次にわたり訴訟の提起があり、原告総数113名（患者単位）、損害請求総額1,651百万円となりました。訴訟提起に至った経緯は平成23年8月、北海道地区において住友石炭鉱業株式会社（現住石マテリアルズ）及びその子会社であった住友石炭赤平炭鉱株式会社等が経営していた炭鉱等の元従業員等が、訴訟外でじん肺罹患による損害賠償を求めてきたのを皮切りに、その後数次にわたり請求の追加があり、元従業員等の代理人と協議を重ねてきましたが、合意成立に至らず、本件訴訟を提起されるに至ったものであります。

今後は、訴訟を通じて原告の主張を精査し、当社の主張を行っていく所存であります。